

A

豊島

島

豊島公民分館だより

第59号

2024年3月吉日発行

発行  
豊島公民分館  
広報部  
発行責任者  
豊島公民分館  
分館長

## 公民分館新館長として 田中和恵さんが就任

故 池田 準分館長の後任として、寿町在住の、田中和恵さんが、新しく豊島公民分館分館長に就任しました。任期途中での交代となりましたが、長く豊島地区の公民分館に携わってきた田中さんが、また、この4月から気持ちも新たに、コロナ後の分館活動を導いていかれることと期待しております。



## つながる喜び

池田分館長の後を引継ぎ、昨年9月1日付で、豊中市教育委員会に任命され、豊島公民分館長となりました田中です。

何分不慣れで未熟な私ですが精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行で、行事という行事がなくなり、人とかかわることが難しくなっていました4年間。

そこから徐々に今までの日常に戻りつつある状態で、市民体育祭、てしまフェスなどの大きな行事を行うことは、私にとって1からのスタートとなり、大きな不安を感じていました。ですが皆様の温かいご協力と色々なアドバイスのおかげで無事終えることが出来ました。皆様には大変感謝しています。

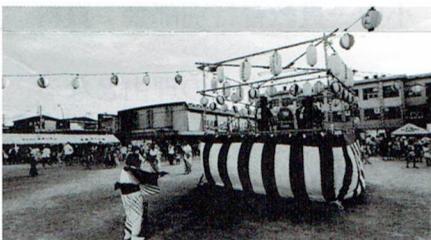
やはり、ここには地域の「和」があり、つながることの楽しさがあります。これからも皆様と共に集い、寄り添い合い助け合って一緒に活動を続けていこうと思っています。

今後とも豊島公民分館へのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 分館の1年間

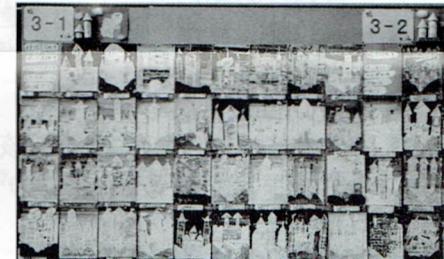
7月

### てしま祭り



11月

### てしまフェス



3年ぶりに7月29日、晴天の下のてしま祭りが、開催されました。ウィズコロナで初めての開催となりましたが、担当各団体が、趣向を凝らし、キッチンカーなども登場して、前にも増しての盛会でした。PTAも子どもたちのパワーに圧倒されながら、楽しくそして、滞りなく運営されていました。

## 10月 市民体育祭



市民体育祭も、3年ぶり、10月22日(日)、秋晴れの小学校校庭で、子どもたち、親御さんや地域の皆様も、精一杯、力の限り頑張っておられました。残念ながら、競技数が少なく、あつという間の約半日でしたが、満足げにお帰りでした。



## スポーツ大会 ソフトバレー ボール



恒例の体育部主催のソフトバレー大会が開催されました。寒さを吹き飛ばすようなプレーの数々、もっとと写真をお載せしたかったです。



1月

## 豊中市公民分館研究大会 全体交流会

2月17日(土)「分館活動の未来に向けて」と題して、公民分館協議会の交流会が開催されました。各分館の発表の後、運営審議会委員による講評があり、課題とその解決に、来場者は熱心に耳を傾けておられました。



# 豊島小学校が廃校に！！

## 豊中市教育委員会において学校統廃合の動きがあります！！

現在、豊中市で学校を再編して「小中一貫教育推進の想定スケジュール」が進められています。（豊島小学校を廃校、小曾根小学校と共に第12中学校（豊中市浜2-14-1）の敷地で令和16年小中一貫教育とするスケジュール）

これに対して、「てしま連絡協議会」（注1）の各団体は断固反対、豊島地域のみが被害者であるとの意見を豊中市教育委員会へ申し伝えました。（注2）

豊島の史実を無視した想定スケジュールに断固反対、社会教育や学校教育にも大問題が発生すると考えられる施策に対し、「断固反対・スケジュール撤廃」の要望書を、令和6年2月15日に豊中市へ提出いたしました。

皆さま、事実をご確認いただき、「断固反対・スケジュール撤廃」の声をあげていただき、「地域と未来を担う児童生徒を守る」とへの応援、何卒よろしくお願ひいたします。

### 1. 豊中市における豊島の史実と筋論の観点から

豊島小学校は南豊島村の第一国民学校に由来する由緒ある学校であり、昭和42年に豊島西、昭和45年に豊島北が分校されています。また、豊島は昭和22年に第一中学校区としてスタートしましたが、昭和24年には第四中学校として再スタートしており、昭和48年に第12中学校が分校されています。

豊島小学校は第四中学校の中核であり、豊中の義務教育の源流です。源流が支流に合流することは絶対にあり得ません。

第四中学校の校区は中豊島小、豊島小、緑地小の一部ですが、小中一貫教育が図られるのであれば、第四中学校で行われるのが史実に基づく筋論です。

（参考：豊中市教育要覧 豊中市の小中学校の系譜、穂積水利組合より聞き取り）

### 2. 学校規模と通学区域、市立小・中学校の適正規模と通学区域について

現在進行中の、南部地域の統廃合と豊島小学校の調整区域の解消（稻津町）は、平成26年4月策定の「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」によって進められてきました。この中で、小曾根小は高川小、豊南小とともに、第12中学校との小中一貫教育を進めることになっています。

また、豊島小も分割校ではなくなり、全員が第四中学校に通うことになり、小中一貫教育は第四中学校として当然に進められています。その矢先に出された今回のスケジュールは、統廃合のための調整区域解消だったのかと疑わざるをえない、教育委員会によるだまし討ちであり、住民への背信行為で言語道断です。

（参考：平成25年5月答申の学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた具体的方策の方向性について、平成23年4月答申の市立小・中学校の適正規模と通学区域のあり方について）

この基本方針では、教育振興計画の見直し

や学校規模と通学区域に関する新たな課題の発生等があれば、必要に応じて見直しを図ることになっていますが、全く無視されています。行政が定めている手続きも無視した進め方は権力による暴挙です。

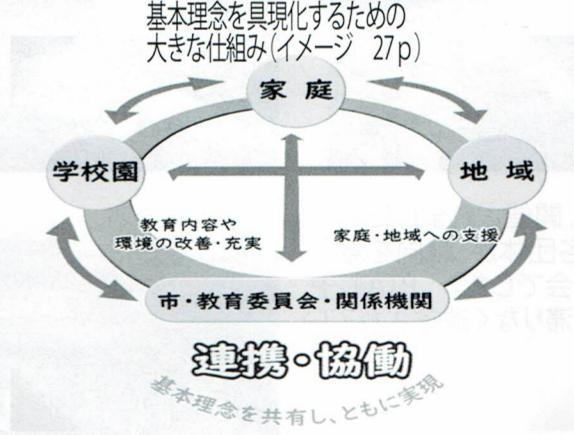
そして、新たな課題等の見直しを図ることなく、小中一貫教育にすり替えられ、令和5年5月策定の「小中一貫教育の推進に向けた基本的な考え方」に基づいて、今回の事案は進められていると思われます。さらに、小中一貫校（施設一体型）を無理やり2つ建設するというスケジュールが、どこに根拠があるのか、教育委員会の思いつきで唐突に提案されたというのが実情です。

### 3. 社会教育の観点から

① 廃校後の豊島小学校の活用方法や、災害時の拠点となる住民等の災害時避難所がなくなり、代替施設等の対応は如何にするのか、という問題点を指摘するも、「現在は何も検討していない」との回答が返ってくるのです。（注2）

② コミュニティの核となる豊島小学校が廃校となると、地域が間違いなく崩壊します。豊中市教育振興計画で進めている下記の「大きな仕組み」と全く異なる施策であり、高齢化する地域に対して、更にスピードをあげて崩壊させる施策です。

（参考：第2期豊中市教育振興計画（令和3年度～令和10年度 2021～2028）令和3年（2021年）3月豊中市教育委員会



### 4. 学校教育の観点から

① 学校教育法施行規則にある適正規模は、小中学校ともおおむね12学級から18学級とされており、令和5年5月1日現在の豊島小学校は17クラス、540名で全く問題がない適正規模です。

大問題なのは、現在において大規模校の再編が進められています。この問題は至急取り組むべき課題であり、児童の教育機会が大きく損なわれています。

現在、豊中市の小学校において、30クラス以上、児童数1,000人以上校が2校、20クラス以上が12校という問題ある現状です。

② 通学距離の問題と

して、豊島小学校区から第12中学校まで、最長と思われる児童で約3km、教育委員会の規定内と思われますが、通学路において、阪急電車より以西の児童は踏切の横断、国道176線の横断、天竺川である天竺川の横断と、3か所ものハードルを越える必要があります。特に、国道176線を横断後は歩道もなく狭小であり、天竺川の横断にあたっては、約1.5mの細い橋が3本、急峻な道や、階段、おまけに抜け道の道路が並走しており、車はスピードをあげて走行しています。

低学年児童における通学時間（教育委員会は概ね30分としている）は推測するに約1時間近くかかるという大問題が発生します。また、豊島地域から小学生の児童が約500名超、中学生の生徒が約300名、一定時刻に800名超の児童生徒が登下校しなければいけません。

これは、児童生徒の健全育成や安心安全にかかる防犯上の問題も考えられ、よくも現場を確認せずしてこの様な想定スケジュールを進めるなど、論外で大問題です。この問題に對しても教育委員会は「現在は何も検討していない」という回答でした。（注2）

\*耐用年数を迎える公的施設が多々ある中、公立小中の一貫教育を進めることにより、国庫負担金で建築費用の1/2～1/3を導入したいという考え方を見え見え、今回の想定スケジュールは学校規模だけを考えた「数字合わせの施策」と断言できます。

（会議録より）

（参考：平成26年10月14日 公立小・中学校の施設費の国庫負担等について 初等中等教育分科会 小中一貫教育特別部会 資料1-3

\*豊中市として、学校統廃合の理由となる「少子化への取り組み」、地域未来に関する明確なグランドデザインや方向性も示されないまま、教育委員会主導での想定スケジュールは大きな問題のある進め方です。

（参考：令和4年度（2022年度）学校教育審議会会議録（想定スケジュール）より）

注1 豊島地域の13団体（公民分館・校区福祉委員会・防犯豊島支部・民生児童委員会・日赤連合分団・消防団豊島班・穂積水利組合・人権教育推進委員会・女性防火クラブ・青少年健全育成会・豊島小学校PTA・総合型ローズクラブ・おやじの会

注2 令和5年9月20日（水）豊中市学校教育課、課長以下4名来校、説明と質疑応答会議を開催し、地域は断固反対と伝えました。

小中一貫教育推進の想定スケジュール										豊中市教育委員会 資料より
対象校区	2024 R5	2025 R6	2026 R7	2027 R8	2028 R9	2029 R10	2030 R11	2031 R12	2032 R13	2033 R14
七中 庄内南 +庄内西 +千成										
	工事									
	義務教育学校 開校									
	学園計画づくり									
十二中 +四中 (一部)										
	設計									
	工事									
	義務教育学校 開校									
	学園計画づくり									
四中 小曾根 +豊島										
	名学校で準備作業へ									
	設計									
	工事									
十八中 豊池										
	学園計画づくり									
	工事									
	義務教育学校 R14年 開校									
八中 東丘 +北丘										
	学園 計画づくり									
	学園 開校									
上記以外の校区										

※準備整勢が整い次第順次着手

凡例：義務教育学校 学園（仮設型小中学校）